

平成29年7月2日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三苦ホーネッツ 対 奈多クラブ戦
果敢にサヨナラのホームを突く奈多クラブ久保選手。

写真：三苦三球会 船橋 史哉

奈多グラウンド ここまで全勝チームの対決の行方は…

三苦ホーネッツ (5勝1敗) 1101020 5 川原●ー広木

奈多クラブ (6勝) 0000051X 6 今林(瑠)○ー馬場口

3BH：広木(三苦ホ)上野(奈多ク) **2BH**：広木、稲葉、大野(三苦ホ)住田、高瀬、久保、今林(祐)(奈多ク)

ここまで全勝同士の対決は、一回表ホーネッツ先頭の矢野選手が出塁すると、続く川原投手がきっちりと送ると奈多クラブバッテリーのWPが続き、まさかの形で先制する。ホーネッツは二回と四回にも1点ずつ追加すると、この週腰の痛みで入院をしていた先発川原投手は、五回まで強力奈多クラブ打線に二塁も踏ませない完璧なピッチングをみせる。一方奈多クラブのエース今林瑠生投手は暑さで疲れが見え、六回までにまさかの5失点ながらもこの試合を一人で投げきった。ホーネッツ優勢で試合が進んでいったが、六回に奈多クラブ打線が川原投手に襲い掛かる。先頭の住田選手が二塁打で出塁すると、高瀬選手、久保選手も二塁打を打ち点差を縮めると、二死から四番上野選手の三塁打で1点差。続く五番馬場口選手のタイムリーでついに同点に追いつく。こうなると流れは奈多クラブ。最終回の守りを無失点で切り抜けると、その裏久保、今林祐将選手の連続安打と四球で一死満塁とする。ここで粘りの投球を続けた今林瑠生投手に打席がまわると、レフトへのフライを打ち上げる。タッチアップは厳しいかと思われたが久保選手の見事なスライディングでゲームセット。前半はホーネッツ優勢の試合だったが後半は奈多クラブの執念が勝利へと繋がった。(記事・写真：三苦三球会 船橋 史哉)



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



ホーネッツ先発の川原投手。



ホームクロスプレーも見事なスライディングの広木選手。



全力プレーでチームを支える奈多クラブ安部三塁手。



六回裏、適時打を放つ奈多クラブ今林祐将選手。



次の塁を狙う積極的な走塁だが惜しくもタッチアウト！



サヨナラ犠飛を放った奈多クラブ今林瑠生選手。



見事なスライディングでサヨナラのホームイン久保選手。



粘りのピッチングをみせた今林瑠投手とサヨナラのホームを踏んだ久保選手。

青松園A 両軍通じて僅か8安打の空中戦

塩浜ジャガーズ 6 3 4 0 13 立石〇、荒木ー竹尾

ブルーマーリンズ 0 5 0 1 6 横山(祥) ●ー横山(健)

HR: 荒木(塩浜ジ) 2BH: 田中(塩浜ジ)

盗塁: 石内、橋村(塩浜ジ)、児玉、井上(広) 桑野、糸井×2(ブルー)

塩浜ジャガーズは一回表、制球難に苦しむブルーマーリンズ先発の横山(祥)投手から四球や暴投で得点を重ね、放った安打は七番石岡選手の1安打のみだったが6点を先取する。ジャガーズは二回表にも3点を追加するが二回裏、ジャガーズ先発の立石投手は初回こそ無失点だったものの、こちらにも制球難で苦しむ。四死球や失策などこちらは2安打で5失点。4点差に縮まりジャガーズの背中が見えたかに思えたブルーマーリンズだったが三回表、一死二三塁からジャガーズ四番佐藤選手に左前適時打を浴び、続く五番荒木選手には3ラン本塁打を浴びる。これがダメ押しとなったか、ブルーマーリンズは四回裏に1点を返すのが精一杯だった。この試合における勝因も敗因も、制球難による得点、失点と言える試合であった。(記事・写真: 雁の巣ライナーズ 明瀬 旭)



ブルーマーリンズ先発の横山(祥)投手。



一回表、6点目の適時打を放つジャガーズ七番石内選手。



ジャガーズ先発の立石投手。



二回表、中越え二塁打を放つジャガーズ八番田中選手。



二回裏、ホームを踏むブルーマーリンズ末松選手。



二回裏、遊撃ゴロでピンチを脱出したジャガーズナイン。



三回表、3ランを放ったジャガーズ五番荒木選手。



ジャガーズ二番手の荒木投手。



四回表、無失点で切り抜けるブルーマーリンズ横山(祥)投手。

青松園B 新町ウインズ快勝！藤田投手ノーヒットノーランなるか・・・

新町ウインズ (4勝2敗) 1 1 2 2 0 4 0 1 0 藤田○ー今林

新町パイレーツ (3勝3敗) 0 0 0 0 0 0 1 1 吉田●ー大濱

HR: 今林、吉浦 (新町ウ) 盗塁: 永淵、安藤 (一) 4、桐島

一回表の新町ウインズは、二番安藤選手が四球を選び、すかさず盗塁。その送球がそれ、一気に三塁に。二死三塁の場面、キャッチャーのサードへの牽制球がそれてしまい、ノーヒットで1点を先制すると二回表には、七番今林選手のセンターオーバーのソロHRで、1点追加。続く三回表は、二死二塁で三番吉浦選手が右中間に2ランHR。五回表には、二死二三塁で、内野エラー外野に抜け2点追加と5対0とすると、投げては、藤田投手が六回裏までノーヒットノーラン。七回表新町ウインズは、相手守備のエラーやワイルドピッチなどで4点を追加し、10点差とする。しかしこのまま終われない新町パイレーツは、七回裏に意地をみせる。三番岡山選手が内野安打で出塁し、ノーヒットノーランを阻止すると一死三塁で、五番白石選手のレフト前のタイムリーヒットで1点を返す。続く七番吉田選手の三遊間への高いバウンドの打球がレフトに抜け、八番中島選手が四球を選び、二死ながら満塁とし反撃に転じたかったが、続く打者がライトフライに討ち取られ、ゲームセット。和白新町対決は、新町ウインズに軍配が上がった。(記事: レッドサンデーズ 前田 篤史、写真: 古賀 開)



集合前に整列する新町ウインズ。



集合前に整列する和白新町パイレーツ。



ウインズ先発の藤田投手。



パイレーツ先発の吉田投手。



初回から足を使って勝利に貢献したウインズ安藤選手。



二回表、ソロHRを放つウインズ今林選手。



三回表、2ランHRを放つウインズ吉浦選手。



七回裏、体勢を崩されるも初ヒットのパイレーツ岡山選手。



レフトに意地のクリーンヒットを放ったパイレーツ白岩選手。

雁レクA ソルトベ이스ターズ対三苦フレンズ戦は・・・

ソルトベ이스ターズが8人と人数が1人足りなかった為、フレンズの不戦勝（7-0）となりました。

（記事：三友クラブ 駄原 孝一郎）

第11週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第11週、7月2日は3試合が行われました。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対奈多クラブ戦は、さすがに全勝チーム同士の戦いで、5-0と先行のホーネッツが楽勝かと思いきや終盤の六回裏に奈多クラブが5連打を含む8安打を集め一気に追いつくと、今林瑠生投手が自らのバットで犠飛。久保選手が猛然と突っ込み5-6Xサヨナラで全勝対決を制した。大量リードに甘さが出たのかホーネッツ先発の川原投手にとっては苦い経験となった。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対ブルーマーリンズ戦は、さすがに全敗チーム同士の戦いで、乱打戦となった。初回からブルーマーリンズの制球難から1安打で6点を先制したジャガーズは毎回得点の13点（5安打）。一方二回裏に内野安打2本で5得点のブルーマーリンズも追いつくが結局13-6でジャガーズが全敗を脱出。ブルーマーリンズは唯一の惨敗チームとなった。ここからの巻き返しを期待したい。

青松園Bの新町ウインズ対和白新町パイレーツ戦は、ここまで3勝2敗チーム同士の戦いで、一回表二死三塁とされたパイレーツは捕手からの不用意な三塁牽制球が悪送球となり1点を先制するとその後も吉田投手のチェンジアップがことごとくWP（PB?）となり失点を重ねる。打ってはウインズ藤田投手の剛球をノーサインで捕球する今林捕手と華麗な守備を見せた吉浦遊撃手のHRなどで10得点。ノーヒットノーランは何とか免れたパイレーツだったが10-1でウインズが同率対決を制した。捕手の差が出た印象の試合だった。2打数2安打2四球4盗塁と活躍したウインズ二番安藤一歩樹選手だったが、七回ノーヒットノーランの掛かった守備で内野安打を許してしまい、反省しきりの試合後だった（笑）

台風三号が梅雨前線を刺激して福岡県南部と大分県に豪雨をもたらし、多数の犠牲者と避難者が出ています。地盤の緩みから二次三次被害が予想されますので、そちらを訪れる方は十分注意されてください。犠牲になってしまった方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を願います。

WSLは梅雨の合間を縫って、開催できることを切に願います。

ただし、怪我だけはしないようにグラウンドの確認と整備をお願いします。